

令和 2 年度 第 2 回

四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 議事要旨

開催概要

日 時	令和3年3月22日(月) 10:00~11:30
場 所	四万十町役場東庁舎1階 多目的大ホール
次 第	1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 (1) 各種事業の進捗状況と課題・今後の対応策について (2) 来年度の事業内容と予算について 4. その他 5. 閉会
配布資料	・ 令和2年度 第2回 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 次第 ・ 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 委員名簿 ・ 資料1: 各種事業の進捗状況と課題・今年度の対応について ・ 資料2: 中心市街地活性化に向けた今後の取組み ・ 資料3: 来年度の事業内容と予算 ・ 令和2年度 第1回 四万十町窪川地域中心市街地活性化協議会 議事要旨
出席者 ※敬称略	武田 秀義(四万十町商工会 会長) 池田 十三生(一般社団法人四万十町観光協会 会長) 泉 茂(株式会社高知銀行 窪川支店長) 窪 博正(岩本寺住職/しまんと街おこし応援団 団長) 森 武士(四万十町 副町長) 森田 健嗣(高知県産業振興推進部 地域産業振興監[高幡地域担当]) 塚本 裕司(高知県商工労働部経営支援課 チーフ) ※高知県商工労働部経営支援課 課長 山本 倫嗣 代理 吉岡 真佐人(株式会社四万十交通 代表取締役) 布 浩二(窪川街分区長会 会長)
欠席者 ※敬称略	八木 雅昭(社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 会長) 西村 秀次(窪川中学校 PTA 会長) 山岡 義正(有限会社山岡商店 代表取締役)
オブザーバー	鍋島 由子(高知県商工労働部経営支援課 主査) 池田 菜美(高幡地域本部 地域支援企画員) 森田 尊之(四万十町商工会 経営指導員) 山本 康雄(企画課 課長) 大元 学(企画課まちづくり推進室 室長) 中村 良輔(企画課まちづくり推進室 主査) 横山 光一(企画課人材育成推進センター 主幹)
事務局	植村 有三(にぎわい創出課 課長) 小笹 義博(にぎわい創出課 副課長)

嶋岡 茉美（にぎわい創出課 主任）

松本 優希（にぎわい創出課 地域おこし協力隊）

協議概要

1. 開会

委員 12 名中 9 名の出席により会議が成立することを報告し、開会を宣言。

2. 挨拶

武田会長

みなさんおはようございます。
年度末のお忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。
国の緊急事態宣言も解除となったが、これでコロナも収束ということには
ならない気がしている。高知県においては今日も昨日も感染者は出ていな
いということで、一定落ち着いているところかと思う。今後、収束に向けて
ワクチン接種も順調にいけば良いと考えている。
今日はお手元にある次第の通りに進めていきたいと思う。皆さんの活発な
意見を頂きながらご承認を頂きたい。よろしくお願いします。

3. 議事

(1) 各種事業の進捗状況と課題・今後の対応について

※事務局より資料 1、資料 2 の説明。

武田会長

事務局より下半期の取組み状況、課題・今後の対応策、数値目標の達成状
況、決算等について説明があった。

新型コロナウイルスの影響で、実施できた事業、出来なかった事業とある
が、皆さんより質問・ご意見があればお願いしたい。

森委員

しまんと古書街道についてだが、20 代以下の方というのは、小・中・高生
等、どこの世代の利用者が多いのか。また、土日の利用について、平日と比
べてどちらの利用が多いのか。

くぼかわ発の体験型観光事業についてだが、説明では商品化されたものが
何点かあるとのことだった。商品化されたツアーの内容について、もう少し
具体的に教えてほしい。

石坂氏

(しまんと街
おこし応援団)

20 代以下の方については、子ども連れのケースが多く、中高生は少ない状
況である。

平日と土日の利用者については、あっと本町の場合、目の前にあるラーメ
ン屋さんのお客さんが来られることが多い。日曜日はラーメン屋さんが休
業日となっているため、来店者数も少なくなっている。

窪委員

体験型観光事業については、まちなかで泊まってもらうことを重視してお
り、お寺やまちなかの宿泊施設に泊まってもらうことを大前提にしている。
モニターツアーでは、実際に美馬旅館に泊まってもらい、文本酒造のお酒

	<p>を割烹武市さんに持ち込んでお酒に合う料理と一緒に飲み比べをしてもらったりしている。また、少し離れてしまうが美馬旅館に泊まりながら山塩小僧での塩づくり体験や松鶴堂でのお菓子づくり、願成寺での座禅体験、岩本寺での写経体験等にも楽しんでもらった。</p>
<p>石坂氏 (しまんと街おこし応援団)</p>	<p>モニターツアーでは、4名の方を対象に3泊4日で体験してもらった。お遍路道については、土佐久礼のあたりからずっと歩いてもらった。また、井上糺店での味噌づくり体験にも取り組んでもらう等、かなり盛沢山の内容を体験してもらった。分厚い報告書ももらい、改善点等の指摘を頂いている。その辺りをブラッシュアップして今後の窪川の体験型観光の一助としたいと思っている。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>街路灯について、以前も議論されたことがあると思うが、街路灯の電気料はどこが負担するのか。街路灯が古く、電気料の負担を誰がしているのか曖昧になっていると聞いた。今回、古くなった街路灯を撤去し、新しい街路灯を整備することになると思うが、電気料は近くの事業主が負担するような形になるのか。</p>
<p>武田会長</p>	<p>電気料は従来通り常会で負担して頂く。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>電気の下に事業者の名前を入れるといったことはするのか。</p>
<p>武田会長</p>	<p>それはしない予定である。</p> <p>イメージとしては、美馬さんの辺りからお寺に向けて一部整備されている街路灯のような形である。そこは門前町ということで、少し色を落としてあまり明るすぎない色の光にしている。また、学園通りでも整備している。そういったものをイメージしてもらえればと思う。</p> <p>茂串町、本町、吉見町とそれぞれ130基ほど街路灯があるが、周辺から整備していく予定となっている。茂串町ではちょうど文化的施設の建設も予定されているが、その周辺も整備する予定である。</p> <p>地域に合った形の街路灯になるのか、統一したデザインのものを整備するのかは、これから検討していく段階であるが、このような取組みを2年間かけて実施していく予定である。</p>
<p>泉委員</p>	<p>コワーキングスペースの整備についてだが、具体的にモデルとなる事業があるのか。また、今後ランニングコストがかかってくると思うが、今後の収支についてどう考えているか。だいたい想定はされているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>管理・運営について、初年度は地域おこし協力隊の中に市街地の活性化という業務を持っている隊員がいるため、その協力隊に管理・運営を兼ねてもらう形をとる予定である。年間の維持経費については、電気料等で90万円程かかる見込みである。使用料については、50万円程を見込んでおり、40万円程度持ち出しは出てしまうが、それ以上に新しい企業を呼んできたり、移住に目を向けてもらったり、というところで経済効果を出していき</p>

	たいと考えている。ちょうど商店街の中にあるため、地元の商店の方にも商談で使ってもらうなど、多目的な使用方法を考えている。地元には4月以降に調整させてもらう予定である。
泉委員	あまりコストはかからないようなので楽しみである。
武田会長	他に意見があればお願いしたい。 (意見なし)
	意見がないようなので、この議題について承認を頂きたいと思う。各種事業の進捗状況と課題・今後の対応策、数値目標の達成状況、決算についてご承認頂ける方は挙手をお願いしたい。 (挙手全員)
	挙手全員ということで承認とさせて頂く。ありがとうございました。 続いて、(2) 来年度の事業内容と予算について、事務局より説明をお願いしたい。

(2) 来年度の事業内容と予算について

※事務局より資料3の説明。

武田会長	来年度の事業の内容と予算についてご説明頂いた。これについて、ご意見等があればお願いしたい。
泉委員	しまんと古書街道についてだが、売上目標が店舗販売50万円、ネット販売200万円となっており、古書の販売額としては250万円となっている。本の冊数としたらどれくらい売ることになるのか。 また、販売数に対して本の調達がスムーズにできる見込みはあるのか教えてほしい。
石坂氏 (しまんと街おこし応援団)	ネット販売は1,000円から3,000円の間で価格で登録・販売している。店舗販売については、100円の本から3万円の本まで単価は様々である。100円の本であれば、それだけで50万円売るとなるとすごい量になってしまう。来年度は月4万円程度の売り上げを目指していこうと考えているが、冊数で聞かれると明確には答えにくい。
泉委員	売っていく本はあるということで良いか。
石坂氏 (しまんと街おこし応援団)	先日、自動車6台で本の収集に行ったが、まだあと2往復する必要がある程(5,000~6,000冊)の古書を寄贈して頂くことになっており、4月になったらトラックをチャーターして取りに行く予定である。この本はどちらかと言えば店舗での販売ではなく、できれば神田で毎日開催している古書市に出店したいくらい素晴らしい本であり、非常に価値のある本が多い。このような本を上手に売ることができればこの目標くらいの売上は出せると考えている。

泉委員	事業全体の話になるが、このような取組みは町のホームページには掲載されているのか。
事務局	しまんと街おこし応援団の方でホームページを作成されているため、各種事業の詳細はそちらのホームページ上で紹介されることになろうかと思う。現状では、町のホームページでの取組みの紹介は行っていないため、町のホームページで応援団のホームページ等を紹介させて頂くといった対応を検討したい。
泉委員	やはり皆さん町のホームページから入っていくと思うので、そこが入口となれば広がりも出てくると思う。
池田委員	くぼかわ街あかりプロジェクトについてだが、桜のシーズン等になると観光協会でもずっとまちなかや改善センター、旧役場の裏手等をライトアップしていた。昨日も花見をやっているお客さんがいたので、桜の名所は特にライトアップしたらどうか。 旧の役場の裏側は、きれいに草刈りをしてきているが、そこに源平桜という珍しい桜も植えられている。そういったものも観光協会としては紹介していきたい。 くぼかわ案内 MAP についてだが、修正費というのは駅前の看板を直すという考えなのか。
事務局	ライトアップイベントについてだが、令和3年度に商工会青年部も実施する予定となっているので、くぼかわ街あかりプロジェクトと連携を取ってもらって対応して頂ければと考えている。ライトアップイベントはにぎわい創出課の交流促進係の方も連携して実施することになっているため、担当に伝えさせて頂く。 また、2点目の旧役場裏手側の桜の件については、池田委員が言われたように、個人的にお花見に行かれる分には構わないということで草刈りだけは町の方で実施させてもらった。一昨年までは、町が提灯を飾ったりしていたが、今年はコロナの緊急事態宣言も発令されている最中であったため、そこは自粛させてもらい、商工会や地元の代表者の方には連絡させて頂いた。来年の3月、4月には実施できればと考えている。 看板の件については、設置日等、記載した方が良い事項もあるので、応援団の方と調整させて頂き、できるところは修正させて頂ければと考えている。
池田委員	旧役場の裏の土地については、もともと若井川の人の所有だったが町に寄贈したものと聞いている。
事務局	草刈りを行い、トイレも直すようにしている。ただ、提灯については今年はコロナの状況もあり、できていない状況である。そこはご理解頂ければと思う。

森田委員	<p>チャレンジショップ事業についてだが、この事業は卒業後、商店街の中で起業して頂ければ活性化にもつながるし、すごく良い事業だと考えている。商工会さんが事業主体ということで頑張っていると思う。2年目の目標のところで、チャレンジャーの育成・支援ということが書いてあるが、これが重要だと思う。起業に向けてお試しで営業することができる環境が与えられながら、セットで創業支援プログラムや個別経営指導も受けられるため、すごく良いと思う。県の方も土佐 MBA の講座でネットの活用方法等、通年の中で何回も講義を受けることができるようになってきている。起業してからでは改めて勉強する余裕は無くなってくると思うので、商工会さんの個別経営指導とセットで講義も受けて頂き、分からないところをフォローしてもらいながら、チャレンジショップで実際に商売の反応を見てもらえればすごく良いと思う。ぜひよろしくお願ひしたい。</p>
武田会長	<p>森田さんどうですか。</p>
<p>森田氏 (四万十町 商工会)</p>	<p>チャレンジショップに入られる方は、初めての方なのでしっかりとフォローしていかなければと実感している。土佐 MBA ついてもその都度チャレンジャーにはお伝えしている。特定創業支援も絡めて手厚いフォローをしていければと考えている。</p>
塚本委員代理	<p>感想になるが、今年度はどこの地域もイベント等がコロナの影響で中止せざるを得ない状況となったり、方向転換をしなければならない状況になったりしている。その中で、四万十町については窪氏、石坂氏を中心に古書街道の取組み等、できることを上手に進められており、大変素晴らしい取組みだと思っている。イベント等についても、一定の感染症対策を行い、ルールを守ってきっちりとできるような方法も話合いの中で出てくると思う。経営支援課の方からアドバイス等もできると思う。これからも商工会、町、実施主体の方々等、密に連携して頂いて情報共有しながら進めていって頂ければと考えている。</p>
武田会長	<p>他に意見があればお願ひしたい。</p> <p style="text-align: center;">(意見なし)</p> <p>意見がないようなので、この議題について承認を頂きたいと思う。来年度の事業内容と予算についてご承認頂ける方は挙手をお願ひしたい。</p> <p style="text-align: center;">(挙手全員)</p> <p>挙手全員ということで承認とさせて頂く。ありがとうございました。</p> <p>それでは、4. その他ということで事務局の方から何かあればお願ひしたい。</p>

4. その他

事務局

4月に開催予定の「ひとくちフェス」のお知らせをさせて頂きたい。

松本
(地域おこし
協力隊)

4月10日に「ひとくちフェス」というイベントを窪川駅横のイベント広場で開催させて頂く。このイベントは四万十町の文本酒造と無手無冠のお酒をメインとしたイベントとなっており、2つの酒蔵が3種類ずつお酒を提供する予定となっている。また、窪川駅周辺の飲食店にご協力頂き、ひとくちで食べれる料理も提供する予定である。皆さん、よければご参加頂ければと思う。よろしくお願ひします。

事務局

事務局より1点良いか。

本協議会の議事録については公開させて頂いているが、今までは発言者名は伏せており「委員」という形をとっている。この部分について、誰がどのような内容の発言をしているのかわからないということで、発言者名の公開を求める声がある。今後は名前付きで公開させて頂いてもよろしいか。

武田会長

委員の皆さん、よろしいか。

(全員承諾)

事務局

ありがとうございます。

最後に次回の開催についてご連絡させて頂く。次回は10月ごろを予定している。来年度上半期の実績等をご報告させて頂ければと考えている。よろしくお願ひします。

石坂氏

(しまんと街
おこし応援団)

最後に一言よろしいか。

窪氏が団長、私が副団長となり、「しまんと街おこし応援団」という組織を立ち上げ、この1年間活動を行ってきた。1年間の活動の感想を皆さんに知ってもらいたい。まちおこしは本来、わくわくどきどき楽しいものだと思う。ところが、この1年間楽しい反面、非常に苦しかった。なぜかと言うと、コロナの影響もあったが、古書街道で言うと同様の人達は町外から来た人ばかりであり、町内の人で手伝ってくれる人は皆無に近い状態である。まちおこしを我々が一生懸命やろうとしても町内の人達は関心が無いのではないか。委員の方々の家族や親せき等で古書街道のボランティアに来てくれる人はいないか。

窪氏は今年度、随分自分のお金を出している。外の人間が一生懸命やっているのでもう少し町内の人達も力を貸してくれるのも良いのではないか。どんどんやりたいが、頭の中には「いつ撤退するか」ということも考えている。こんなひどいやり方でやっていたら疲弊してしまう。補助金はそれなりに頂いているが、補助金の中に人件費は含まれていないので、ボランティアでやってもらうことになってしまう。皆さんに知って頂きたいのは、まちづくりは意外と苦しいということである。3年間は続ける気であるが、

3年たったら自分はまだ80歳である。この年齢で頑張っているのもう少し皆さんも手を貸してもらいたい。

武田会長

古書街道については、どういう形でやられているのかという所をあまり詳しく知らなかった。今、話を聞いてそのような実態であることは申し訳ないが初めて知ったところである。商工会青年部等、色々な所に声をかけて古書街道の内容を知ってもらうことがまず大事だと思う。できるところで支援をしたいと思う。

石坂氏

(しまんと街
おこし応援団)

こちらのPRも足りなかった部分もあるので、今後は周知していきたい。

武田会長

町民の方々はどのようにやっているのかわからないと思う。古書街道自体がどのような位置づけでやっているのかということを知ってもらうことが大事である。

1点質問だが、何千冊という古書をトラックで運ぶというお話があったが、その古書はどこに保管しているのか。

石坂氏

(しまんと街
おこし応援団)

旧福祉作業所あさぎりを借りて置いている。現時点で1万冊近くの本がある。保管場所があるので助かっている。このままこの事業を進めていくと、5~6万冊では話にならないので、50~100万冊が必要となると思う。そうなる、新しい保管場所を考えないと保管できない。動いていない古書があるのでこちらに持ってきたいが、持ってくるのにもお金がかかってしまう。全然使われていない本もあるので、非常にもったいないと思っている。

イギリスにヘイ・オン・ワイという人口1,500人の村がある。そこでは古書で村おこしを行っている。今では年間100万人程、人が訪れる場所となっている。我々は儲けようとは思っていない。外から四万十町へ来てもらい、まちの中で泊まり、ご飯を食べ、お土産を買ってもらうことで町の経済が活性化することを目指している。最初は少ないかもしれないが、年間5,000~6,000人くらいの人達に町に来てもらい、その内の7~8割の人が町内に泊まってくれば、地域経済に与える影響も大きいのではないかと考えている。古書街道は人を集める手段としたいと思っている。せっかく良い町なのにこのままではもったいない。つぶさないようにしなくてはならない。

武田会長

現在、文化的施設の建設が予定されているが、例えば古書の図書館とするのはどうか。

森委員

経費のことについても質問しようと思っていた。現在、家賃がかかっているが、補助金が無くなったらどうしていくのかという所は誰もが気になるところだと思う。先ほど、ラーメン屋さんが日曜日はお休みという話があったが、観光列車も来ているので、やはりそういったところも各事業者の

方にご協力頂き相乗効果を出していくということが重要である。
また、来年度の計画の中で、ネット販売が 200 万円程の売上目標となっているが、新しいビジネスとして商売にしていけないと、ボランティアではなかなか定着は難しいと感じた。
文化的施設の話も出たが、コワーキングスペースもできるので各施設が連携しながら有機的なつながりを持ってやっていく必要がある。

武田会長 運営があまり負担にならないように、町もそのあたりを見てもらい、支援できるところは支援してもらえればと思う。皆さんも協力できるところは協力して頂きたい。

布委員、何かあればお願いしたい。

布委員 どうしても高齢者ばかりになってしまったので、自分の生活で精一杯になってしまっている。意見という意見はないが、今日は初めての参加だったので、勉強させてもらおうと思って来たところである。

武田会長 北琴平の桜の木は本当にきれいな桜である。橋から川沿いを行くと、アーチ状の小さな橋がある。写真に撮るとすごく景観が良い。片側の堤防は災害のために整備したが、もう片側はそのままとなっているため、コンクリートで整備するのではなく、人が休憩できるようなところにしてほしい。少し手を加えれば良くなると思うので、そういったところをやっていくのは重要だと思う。

池田委員 ひろみ堂さんの裏のところの桜のことだが、剪定は須崎緑と水の会が何回かやっている。荒れ放題になっている庭があるので、ひろみ堂さんとも相談して持ち主に切らせてもらえないか相談を持ち掛けている。まだ返事は来てないが、切ることができればもう少し見やすくなると思う。
また、企画課の方の事業となるが、草刈りをすることによって彼岸花が出てくる所なので、草刈り用の費用をもらえれば写真移りも良くなるし、お客さんがもっと来るようになると思う。観光協会も須崎緑と水の会も遠山を守る会もそのようなことに取組んでいる。

山本 (企画課長) 自治会活動の支援事業のことだと思うが、使えるかどうかについては慎重に判断させて頂ければと思う。

武田会長 他に何か意見は無いか。

(意見なし)

意見等無いようであれば、この事業が来年度も活発に行われることを祈念して終了とさせて頂く。
ありがとうございました。

以上